

青い波北陽台

令和2年2月29日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 西田 哲也

修学旅行を終えて

教頭 川原 智司



頬にあたる風は冷たいものの、日中の陽射しに早春の気配が感じられる時節を迎えました。春は別れの季節とも言われますが、3年生の皆さんがいよいよ本校を巣立っていく日が近づいてきました。今後直接関わることができなくなることに對して寂しさを実感していますが、本校における学びを修了されることに對し、心からお祝いを申し上げます。今後より一層、情報化・ボーダレス化・グローバル化が加速していくことが想定される中、これまで培った力を踏

まえ、それぞれが人生100年時代を主体的に生き抜き、21世紀を牽引する存在として益々活躍されることを祈念しています。

さて、つい最近の出来事ではありますが、2月中旬に2年生とともにシンガポール共和国・マレーシアに足を運んできました。本校におけるこの地域への訪問は今年度で6年目を迎えたが、様々な研修を通して多文化共生社会と多様な国際関係を理解するとともに、グローバル経済や海外進出企業の取組を体感し、国際感覚を培うという目的が掲げられています。今年度は、出発の間際になり、新型コロナウイルスが世界の各地で流行の兆しを見せ、シンガポール市内の一部の企業において訪問を見合わせざるを得なくなり別途対応となりましたが、このことを除けば予定どおりの行程を終えることができました。

今回初めて海外を経験した生徒が少なからず見受けられたものの、まずは慣れない環境の中で体調管理を行い、予定されたプログラムを完遂していく中で自身に対する認識を深めるとともに、周囲にも気を配りながら主体的に活動する貴重な機会となったのではないかと考えています。また、学校交流やホームビジット等を通し、訪問地において積極的に交流を図っている姿が見られ、視野を広げていく端緒となったものと思われま

す。ところで、シンガポール市内の企業を訪問した際、現地の担当者から以前に比べると外国人の日本及び日本人に対する捉え方が変わってきているという主旨の説明を受けました。この数年、世界の各地、特に日本の近隣地域において目覚ましい発展がみられ、中には社会に変革をもたらすような商品やサービス等が生まれつつあります。こうしたことから、日本人としての誇りを持ちつつも、世界の潮流に目を向け続けて物事を多面的に捉えていく力を培い、常に危機感を持って多様化する社会に對していく姿勢が求められていることを痛感させられた次第です。

この修学旅行中に急逝した元プロ野球監督の野村克也氏は、データを重視する「ID野球」を掲げたことで知られ、現役のプロ野球チームの監督から「野球界のみんながなんとなく知っていることを整理してくれた。今の野球界全体のベースにもなっている。」と評されていますが、「感性は執念と向上心から湧き出る」という言葉を残し、人生においても一番大事なものは感性であると説いています。この修学旅行で感じたことを糧に、それぞれが感性を引き出す手立てとなる知識や技能を日常の経験の中で高め、更なる国際感覚を培っていくことを期待しています。

緊急連絡

学校休校について

新型コロナウイルスの感染防止に関して、政府および県教育委員会からの通知を受け、本校においては、次の措置を取ります。内容をご確認の上、ご理解並びにご協力くださいますようお願いいたします。

なお、県内での感染状況や国及び県の今後の対応状況等により、必要に応じて見直すことも有り得ます。その場合は、メールメイト等を活用してお知らせしたいと考えております。

- 1 本校においては、3月4日(水)から3月24日(火)を臨時休業とします。
ただし、3月17日(火)と3月24日(火)については、臨時登校日とし、午前中の登校を予定しています(8時20分からSHRを実施し、3月17日には教科書販売を行いますので、代金の準備をお願いします)。
- 2 3月3日(火)については、午前中に学年末試験の答案返却及びLHR等を実施し(8時20分からSHRを実施します)、午後は完全下校とします。
なお、3月2日(月)については3月1日(日)の代休となりますが、登校は禁止します。
- 3 部活動については、3月2日(月)から3月24日(火)まで校内外を問わず中止します。
- 4 不要不急の外出を避け、基本的に自宅で過ごし、基本的な生活習慣を維持し、体調の管理に配慮願います。
- 5 休業中に家庭で学習できるよう、各教科から学習課題等を課すことにしています。なお、内容及び提出締切等については、各担当からの指示に従ってください。
また、別途配付する「学校臨時休業及び春季休業中の生徒心得」を踏まえ、新年度に向けて充実した日々を過ごすよう指導願います。

2年生修学旅行

2月9日（日）から14日（金）にかけて、A団とB団の2グループに分けてシンガポール・マレーシアへの修学旅行に行きました。現地では、学校交流や企業訪問などを通して海外の文化を学び、ホームビジットでは実際に衣装を借していただいたり、郷土料理を食べたりしました。慣れない英語で一生懸命コミュニケーションをとり、学びの多い修学旅行となりました。



ラグビー九州大会

2月22日から26日にかけて、鹿児島県さつま町にて「第42回全九州高等学校新人ラグビーフットボール大会」が行われ、本校ラグビー部は、長崎県第1代表として出場しました。苦しい戦いとなりましたが、選手たちは全力を出し切り、戦い抜きました。結果的には第5位となり、3年連続7回目の「全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会（3/24～31・埼玉）」の出場権を得ることができました。（新型コロナウイルスの感染防止の影響で中止となりました。）

《試合結果》

2月22日（土） 長崎北陽台高校 116 - 0 鳥栖工業高校（佐賀県2位）

2月23日（日） 長崎北陽台高校 15 - 33 東福岡高校（福岡県1位）

〈5位決定トーナメント1回戦〉

2月25日（火） 長崎北陽台高校 78 - 5 日向高校（宮崎県1位）

〈5位決定戦〉

2月26日（水） 長崎北陽台高校 51 - 12 筑紫高校（福岡県2位）

学年主任より

1 学年主任 守 慶直

「2年生になる準備を」

ついに3年生の卒業の日がやってきました。これまで部活動や学校行事等、あらゆる場面で北陽台を牽引してくれました。お世話になった先輩方に感謝の気持ちを込めて送りましょう。

さて、今年度も残すところ1ヵ月となりました。3月は丸一日授業があるのは7日程度で、4月の始業式までのおよそ30日は自分で勉強しなくてはなりません。この期間の過ごし方次第で、2年生のスタートを上手く切ることができるかどうかが決まるでしょう。これまでの自分自身を振り返り、特に授業や課題の提出など取り組みがよくなかったと感じる人は、絶好の切り替えのタイミングだと捉え、来年度を見据えて毎日を大切に過ごしてほしいと思います。

2 学年主任 林 圭介

「修学旅行終わる」

修学旅行が終わりましたね。感想はどうですか。かなりいろいろな不安・懸念を抱えながらの実施だったと思います。しかし、多少の変更点があったものの、大過なく過ごすことができたのではないのでしょうか。

前回書いた内容をなぞりますが、最優先の「安全」の面は、保健上の対策がいつも以上であったために、病人・けが人はほぼゼロでした。あとは、それぞれが自分の行動を振り返ってみて、確認してください。パスポートを保持するというのも安全面では大切なことでした。

次の「時間」の面は、かなりの反省点があると思います。5分前行動、まだまだ全員できてはいないですね。お土産や食べ物を買ってよい時間かどうかという認識も、かなり減茶苦茶な人がいました。そして、修学旅行全体が授業の一環であるという重大事項が、すっぽりと欠落している人がいたことは残念でした。ルールは守ること。

最後の「充実」させるという面はどうでしたか。友人たちの様々な面に触れることができ、話もたくさんできたでしょう。また、学校交流やホームビジットなどでコミュニケーションはとれましたか。言語の大切さ、文化の大切さ、知っている人が国外にいることの大げさなどを、学んでもらえたのではないかと思います。

2年生もいよいよ終わりに近づきました。良い思い出を胸に、次に進んでください。

3 学年主任 下村 かおり

Congratulations on Your Graduation!

39回生の旅立ちが近づいてきました。この3年間はあっという間で、特に6月の高総体後は毎日が目まぐるしいものでした。あっという間に夏が過ぎてセンター試験100日前となり、当日を迎え、国公立大学前期試験が終了し、卒業式がやってきた感じがします。

センター試験後、出願校が決定するまでは色々と思い悩んでいた人も、次第に精神力を充実させ、目の色が変わっていきました。3年生を担当する度に思うのは、受験を通して本当に生徒たちが大きく成長するということです。人生の分岐点となる受験に、どのような気持ちでどのような姿勢で臨むのか。そしてその結果をどのように受け止めるのか。全てが思い通りというわけではありませんが、全力で取り組んだ結果を真摯に受けて止めて、次のステップへと踏み出していく、その過程が大切なのだと思います。

39回生のみなさん、卒業おめでとう。皆とともに、私自身も3年間楽しい日々を過ごすことができました。皆の笑顔ばかりが思い出されます。今後は、北陽台で過ごした3年間を糧に、大きく羽ばたいてください。大人になった皆さんと会える日を楽しみにしています。